

部門名	一般建築工事（中規模）
案件名	松江市指定文化財田野家住宅（旧田野医院）解体保存工事
工期（始）	令和4年6月16日
工期（終）	令和5年1月20日
場所	苧町
事業者名	株式会社深田建設
代表者名	代表取締役 深田 真二
技術者役職	主任技術者
技術者名	槇野 崇和
工事概要	文化財建造物の解体保存工事 （木造2階建 延床面積 247.54㎡）
表彰理由	<p>本工事は、松江市指定文化財田野家住宅（旧田野医院）の復元を見据えた解体保存工事という特殊な内容であり、工事管理においても知識と経験が必要となるものであった。別途発注の調査・再建築資料作成業務と並行して工事を実施する必要があったが、監理者・調査者と調整のうえ適切な工程管理により工事を完了させた。また、施工中にまちづくり文化財課における市民向けの現場見学会の開催があったが、適切な安全管理をもって全面的に協力体制を取られた。解体部材の保管にあたっては、材料の品質を維持するために養生方法を工夫し、適切に対処した。</p> <p>安全管理・工程管理・品質管理が適正であり、全体として優良な工事であった。</p>

本工事の表彰技術者である、株式会社深田建設の主任技術者（当時）槇野崇和氏は受賞の感想を「大変光栄に思います。工事に携わって頂いた全ての方々の協力があってこそ頂けた今回の受賞だと思えます。」と話す。

本工事で印象に残ったことは「工事内容がただ建物を解体するのではなく造られた当初の形にて再構築するという前提のもとに当時の痕跡調査をしながら解体保存を行うという工事でした。解体した保存部材や保存部位の解体方法・運搬・保管方法及び解体保存工事としての成果品の作成という点が印象に残りました。」と振り返る。

槇野氏は仕事における今後の目標は「工事に



携わっていただく全ての方々から信頼される技術者になりたいと思います。」やりがいについては「自分たちの手掛けた建物が人の思い出として残るということです。」と語る。

これから建設業界を目指す人へは「日々勉強の毎日ですがその毎日の積み重ねが自分のスキルとなっていきます。」とメッセージを送った。

最後に、槇野氏が勤務する株式会社深田建設について紹介してもらいました。

「株式会社深田建設では、文化財に限らず全ての建築を手掛けることができます。何事も相談し協力し合える会社です。」



株式会社深田建設  
(写真左) 代表取締役 深田氏  
(写真右) 主任技術者 槇野氏